

研修レポート

豊橋市民病院研修医

新城市民病院では、初診外来、救急外来、入院患者の管理を担当させていただきました。普段働く豊橋市民病院の救急外来では鑑別疾患を深く考えずにどんどん検査をしていっていましたが、問診、身体所見を丁寧にとり、鑑別疾患を挙げ、どのような検査を行っていくか、また、検査結果を読み解き、入院・もしくはどのように外来フォローを行っていくのか、という普段の救急外来では経験できなかったことができました。また、普段は入院患者の管理を担当していることから、健診異常のフォローや生活習慣病のフォローについては全く知りませんでした。初診外来で学ぶことができました。

毎日のカンファレンスで、問診での足りなかった点や、検査や鑑別疾患、フォローについてなどの振り返りがあることで、診療で足りなかった点を勉強でき、翌日の診察に生かすことができました。

急性期病院での治療後に転院となり、入院でリハビリなどを行って、自宅や施設に戻る過程もみることができました。今までは急性期治療、その管理にのみ対応していましたが、骨折や肺炎などで低下してしまったADLを改善させていくためのリハビリをおこなったり、家族のサポートできる状況を聴取し、福祉サービスの導入を行っていったり、自宅訪問を行い、問題点やリハビリのゴールを設定したり急性期治療ののちどのように患者さんの生活環境を整えていくかというのをMSWさん、看護師さん、リハビリの方、先生方全員、患者さんやそのご家族と話し合っていて、治療後もたくさんの方の関わりがあることを知りました。

また、訪問看護に同行させていただき、自宅退院となった方が、自宅でのどのように生活しているか、状態の変化はないか、困っていることはないかなどを看護師さんが聴取し、アドバイスなどをされていて、自宅介護を支援していく様子を見ることができました。老老介護となっている家庭もあり、介護している方の負担も大きく、介護者の健康状態にも気にかけていたことも印象的でした。介護者の認知症症状が出てきた際には、薬の一包化や、薬剤師さんに訪問に入っていただき、内服管理を行うなど、自宅で生活できるように多くのサービスの導入が工夫されており、勉強になりました。

新城市民病院では4週間の研修を行うことで、急性期病院では経験できない、地域に密着した診療について学ぶことができました。総合診療科の先生方には熱心にご指導いただき、大変勉強になりました。また、看護師さんをはじめとする職員の方々には親切に対応いただきました。4週間の短い間でしたが、大変有意義な研修を過ごすことができました。この経験を今後の診療に活かしていきたいです。至らない点も多数ありましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。